



山口宇部 医療センター だより



P2 2026年 年頭のあいさつ

P4 診療科特集 「小児科」紹介

P5 ● 健康レシピ
● リハビリテーション科
「嚥下障害がある患者さんの基礎訓練！」

P6 ● 看護師募集案内

P7 ● 特殊外来・健康教室・相談窓口等案内

P8 ● 外来診療担当表

理念

患者の権利を尊重し、最新の医学知識に基づく医療を提供します。

基本方針

1. がん、呼吸器疾患の専門病院として、高度で専門的な医療を提供します。
2. 重症心身障害児(者)の専門施設として、きめ細やかな医療と療育を提供します。
3. 十分な説明と同意に基づいた患者中心の医療を実践します。
4. 臨床研究を推進し、医学の進歩に貢献します。
5. 地域医療連携に努め、医療従事者、地域住民の医学教育、研修を行います。

2026年 年頭のあいさつ

山口宇部医療センター

院長 田中 伸幸



新年明けましておめでとうございます。私は昨年10月に当院の院長に就任したため、今回が初めての新年のご挨拶となります。本年が皆様にとりまして良い年となりますよう、心から祈念申し上げます。

年頭にあたり、ご挨拶申し上げます。

昨年を振り返りますと、自然災害がたくさん起こりました。国内では、夏（6～8月）の日本の平均気温が、1898年の統計開始以降で最も高く、熱中症で救急搬送された人は、全国で10万人を超えたと報告されています。クマに襲われる被害も急増し、今年度の死者数は11月末時点で過去最悪の13人となっています。また、世界に目を向けても、米カリフォルニア州ロサンゼルスでの山火事、米テキサス州で大規模洪水、ミャンマーやセブ島沖での強い地震のため、多くの人が犠牲となっています。ロシアのウクライナ侵攻、イスラエル・パレスチナ紛争は終わりが見えません。

一方で、明るい話題もありました。大阪・関西万博は成功裏に終わり、ノーベル賞には今回も坂口志文、北川進山の日本人2人が選ばれ、記憶に新しい11月には、所属する大谷翔平、山本由伸、佐々木朗希選手の活躍で、ドジャースがワールドシリーズ連覇を成し遂げました。日本人であることを誇りに感じた人も多かったと思います。

2026年の干支(えと)は「丙午(ひのえうま)」です。これは十干(じっかん)の「丙(ひのえ)」に十二支(じゅうにし)の「午(うま)」が組み合わせられたもので、60年に一度巡ってきます。前回の1966年はある迷信

(八百屋お七のお話)から出生率がかなり低下したという現象が起きましたが、実際は、「陽」や「火」を意味する「丙」と「火の気が強まる時期」の象徴である「午」が重なることから、情熱や勢いが高まり、太陽のようにエネルギーが満ち溢れ、大きな飛躍や変化が期待される年となる、とされています。当院もこれにあやかって、暗いことが重なっていた状況をなんとか好転したいものです。是非とも、飛躍の年にしたいと思います。

ところで、当院の二次医療圏および、山口県内における役割は、呼吸器疾患患者に対して最も多くの病床数を有する呼吸器専門病院、また、国立病院機構の一員として求められているセーフティネット医療における重症心身障害者医療施設であると考えています。

コロナ渦も一段落して、85歳以上の増加や人口減少がさらに進む2040年に向けた新たな地域医療構想が2027年度から本格的に開始されるにあたり、2026年度は体制全体の方向性などが協議される事になっています。「地域包括ケアシステム」とは、国民、

高齢者ができる限り住み慣れた地域で、これまでの日常生活に近い環境で暮らすことができるように各地域の実情に応じて、介護や介護予防、医療、住まい、生活支援、そして社会参加までもが包括的に確保される体制ですが、それを推進、維持するためには、地域医療構想が極めて重要になってきます。その中では、各医療機関の存在意義に基づいた施設の診療機能の分化と分担の明確化が必要となってきますが、当院ではすでに呼吸疾患患者、重症心身障害者に特化した診療機能の分化がすでに実践されております。今年、これらの診療機能をさらに確固たるものにするとともに、近隣の、他の医療機関との連携体制の構築、さらなる推進を進めることにより、宇部・小野田地区の二次医療圏、ひいては、山口県内の住民の皆様のご利益につながるような、頑張っていく所存であります。

今後とも変わらずにご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



「小児科」 紹介

小児科系診療部長
奥田 裕美



当院には重症心身障害児(者)の入所施設、きらら病棟があり、当院小児科は重症心身障害児(者)の診療のみを行っています。重症心身障害児(者)病棟は昭和43年3月に40床で開設され、現在はきらら東病棟(60床)、きらら西病棟(60床)の計120床となっています。

重症心身障害児(者)とは重度の知的障害と重度の肢体不自由が重複している方のことで、きらら病棟は重症心身障害児(者)に対して、医療と生活支援を一体的に提供する施設です。医療法上の病院であり、さらに福祉の法律に基づいたサービス(18歳未満は児童福祉法による医療型障害児入所支援、18歳以上は障害者総合支援法による療養介護サービス事業)を提供しています。

令和8年1月現在、2歳から76歳まで、様々な年齢の方が利用されていますが、成人の方もすべて小児科が担当医を務めています。小児科は4名で診療を行っており、当院および他院の他科医師の支援を受けながら、利用者さんたちの健康管理を行っています。近年は利用者の重症化が進んでおり、人工呼吸器装着、喀痰吸引、経管栄養など濃厚な医療的ケアを要する方が増えています。当院は在宅の重症心身障害児(者)の支援も行っており、きらら病棟を短期入所で利用することができます。また、重症心身障害児(者)通所事業「マラウ」を開設しています。

当院では医師、看護師、保育士、児童指導員、リハビリスタッフ、臨床工学技士、栄養士など多職種で重症心身障害児(者)の支援を行っており、小児科医は診療だけでなく、チームをコーディネートする役割を担っています。



健康
レシピ

寒い冬に 「温まるスープ」



■ 材料(2人分)

- 生鮭..... 2切れ(200g)
- しめじ..... 1/2パック(60g)
- 大根..... 50g
- ごぼう..... 1/4本(50g)
- 豆乳(無調整)..... 100ml
- みそ..... 大さじ1
- こだわりの野菜だし(粉末)..... 1本(8g)
- 水..... 300ml
- こねぎ(小口切り)..... 少々

【作り方】

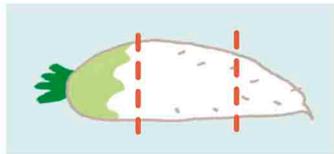
- ①鮭は一口大に切る。しめじは小房に分け、大根はいちょう切り、ごぼうは斜め薄切りにする。
- ②鍋に水とこだわりの野菜だしを入れる。野菜を入れてひと煮立ちさせる。
- ③鮭を加えてフタをし、中火で5分程煮込む。
- ④火を止め、みそ、豆乳を加えたら出来上がり。器に盛り、小葱を散らす。

ちょこっと
メモ

【1人分の栄養量】

エネルギー：200kcal
タンパク質：27.1g
脂質：6.6g
塩分量：2.1g

■ 大根について



| | 上部 | 中部 | 下部 |
|----------|-------------------------|------------------------------|--------------------------|
| 特徴 | ・甘い ・水分が多い ・程よい食感 | ・甘みと辛みの バランスが良い ・やわらかい | ・辛みが強い ・水分が少ない ・硬い |
| おすすめメニュー | ・サラダ ・大根おろし | ・おでん ・煮物 | ・みそ汁 ・漬物 |

鮭や野菜、豆乳に含まれるたんぱく質やビタミンなどの栄養が一気に摂れるスープです。このスープを飲んで、寒い冬を乗り切りましょう。 栄養管理室

◎参考文献 鮭と野菜の豆乳みそスープ | かわいいフリー素材集 いらすとや | 「大根の部位」別の使い方を総まとめ!辛いのは上・下どっち? - macaroni

リハビリテーション科

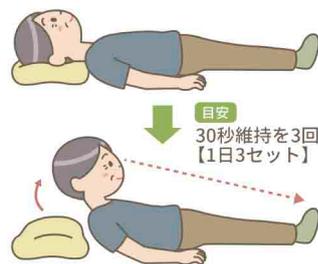
嚥下障害がある 患者さんの基礎訓練!

嚥下障害を呈した患者さんに対して食べ物を使用しないで行う訓練を基礎訓練といいます。その訓練は誤嚥のリスクを減らしながら安全に嚥下機能を向上させる方法として有効です。

今回は、その基礎訓練の中でも手軽に行える頭部挙上訓練、プッシング訓練について述べたいと思います。

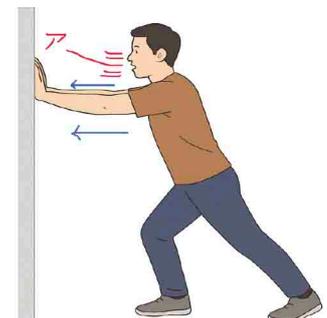
1 図1の頭部挙上訓練の方法は、仰向けになり頭を上げて、つま先を見て30秒ほど挙上した状態を保ち、その後1分間休むという動作を3回程度繰り返します。効果は、首や喉の筋肉全体に力が入り、嚥下時に必要な喉仏を上下させる筋肉(喉頭挙上筋群)を鍛え、飲み込みの機能を高めます。

【図1】 頭部挙上訓練 (シャキア・エクササイズ) ~咽頭の筋力を鍛える~



2 図2のプッシング訓練の方法は、しっかり息を止めた後に、壁を押しながら「エイッ」「アッ」と声を出します。効果は、反射的に息こらえを促し声帯を閉鎖することで誤嚥を防ぎ、声量や咳をする力を強化し、誤嚥を防ぐ機能を高めることにつながります。

【図2】



※首に疾患がある方や高血圧の方は行うことができません。

令和9年度採用 看護師募集

あなたを
待っている
人がいます。



〔採用試験日〕 令和8年 5月23日〔土〕

〔募集受付期間〕 令和8年 4月1日〔水〕 — 5月13日〔水〕

〔応募資格〕 ● 令和9年3月に看護師資格を取得見込の方
● 看護師の資格を有する方

※採用試験の応募方法等については、「国立病院機構中国四国グループ採用情報」にて案内予定です。
給与等の待遇についてお聞きになりたい方は、給与係長までお気軽にご連絡ください。



当院では病院見学会を随時実施しておりますので、
ご希望の方は担当者までにご連絡ください。

〔連絡先〕 tel.0836-58-2300(代) 〔担当者〕 副看護部長 妹尾(せのお)

病院見学会の
ご案内





特殊外来・健康教室・相談窓口等案内

令和8年1月1日 現在

| 特殊外来・健康教室名 | 場所(診療科) | 予約 | 実施日時 | 担当 |
|-----------------|----------|----|--------------------------------|----------------|
| 肺癌・中皮腫検診 | 画像診断科 | ○ | 火・金曜日 | 松本 常男 |
| 石綿健康管理手帳検診 | | | | |
| じん肺健康管理手帳検診 | 画像診断科 | ○ | 火曜日 | 松本 常男 |
| 宇部市肺がん検診 | 画像診断科 | ○ | 火・金曜日 | 松本 常男 |
| 宇部市乳がん検診 | 乳腺・消化器外科 | ○ | 月・金曜日 | 平澤 克敏 |
| 宇部市骨粗鬆症検診 | 放射線科 | ○ | 毎日 | 田中 伸幸 |
| 禁煙外来 | 内科 | ○ | 火曜日 午後2時～ | 前田 忠士 |
| 家族ケア外来 | 精神科 | ○ | 金曜日午前(完全予約制) | 小野 光弘 / 長友 隆一郎 |
| 呼吸器ドック | 呼吸器内科 | ○ | 火曜日 木曜日 | 前田 忠士 亀井 治人 |
| 日帰り人間ドック | 腫瘍内科 | ○ | 火曜日 | 前田 忠士 |
| 特定検診 | | | | |
| 渡航時の各種証明及び検査 | 画像診断科 | ○ | 火・金曜日 | 松本 常男 |
| 就業時等の身体検査 | | | | |
| CTによる肺癌検診 | 放射線科 | ○ | 平日 12時～19時 第4土曜 10時～12時 | 田中 伸幸 |
| 乳癌検診 | 乳腺・消化器外科 | ○ | 月・金曜日 午後1時～ | 平澤 克敏 |
| 睡眠時無呼吸症候群外来 | 呼吸器内科 | ○ | 火曜日 午後2時～3時 (新患:第1火曜日) | 坂本 健次 |
| 手掌多汗症手術外来 | 呼吸器外科 | ○ | 水曜日 午前(紹介状必須) | 沖田 理貴 |
| てんかん外来 | 精神・神経内科 | × | 毎日 | 小野 光弘 |
| セカンドオピニオン外来 | 外来診察室 | ○ | 毎日(完全予約制) | 各種対象疾患担当医 |
| がん相談支援外来 | がん相談支援室 | × | 毎日 | がん相談支援室看護師 |
| 呼吸器疾患看護外来 | 外来診察室 | ○ | 毎月第1・3木曜日 午前 (完全予約制) | 認定看護師 |
| がん看護外来 | 外来診察室 | ○ | 毎日(完全予約制) | 認定看護師 |
| 非結核性抗酸菌症(NTM)外来 | 外来診察室 | ○ | 第2、4火曜日 第1、3金曜日 午後1時30分～ | 坂本 健次 恐田 尚幸 |

| 診療科 | 概要 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-----------|------------------------------------|--------------------------|---|--------------------------|-----------------------------------|-------------------------------|
| 内科新患外来 | | 亀井 治人 上原 翔 | 近森 研一 恐田 尚幸 | 前田 忠士 吉山 大貴 | 綿田 誠 | 角川 智之 藤井 哲哉 (午前のみ) |
| 内科紹介外来 | (連携室予約のみ) | 亀井 治人 | 亀井 治人 | 亀井 治人 | | 亀井 治人 |
| 内科 | | | 石田 浩一 | | | 石田 浩一 |
| 呼吸器内科 | | 坂本 健次 沖村 昌俊 | 恐田 尚幸 坂本 健次 久本 優佳里 渡邊 倫哉 一山 康 | 恐田 尚幸 上原 翔 柳 大樹 | 坂本 健次 久本 優佳里 渡邊 倫哉 | 上原 翔 一山 康 沖村 昌俊 柳 大樹 |
| 腫瘍内科 | 抗がん剤治療 肺がん等 | 前田 忠士 近森 研一 | | 近森 研一 | 前田 忠士 | |
| 画像診断科 | 画像診断等 | | 松本 常男 | | | 松本 常男 |
| 呼吸器外科新患外来 | | 井野川 英利 | | 沖田 理貴 | 岡田 真典 | |
| 呼吸器外科・外科 | 肺がん | 沖田 理貴 岡田 真典 | | 井野川 英利 岡田 真典 | 井野川 英利 沖田 理貴 | |
| 乳腺・消化器外科 | 胃がん・ 大腸がん等 | 平澤 克敏 | | 平澤 克敏 (午前中のみ) | | 平澤 克敏 (手術で不在の場合あり) |
| 緩和ケア内科 | ※完全予約制 | | 小笠原 啓子 | | 小笠原 啓子 | |
| 放射線科 | 画像診断・ 放射線治療等 | 田中 伸幸 田口 耕太郎 神谷 正喜 | 田中 伸幸 田口 耕太郎 神谷 正喜 | 田中 伸幸 田口 耕太郎 神谷 正喜 | 田中 伸幸 田口 耕太郎 神谷 正喜 松本 常男 | 田中 伸幸 田口 耕太郎 神谷 正喜 |
| 小児科 | 重症心身障害児(者) 発達障害児(15歳まで) ※予約制 | 小林 光 | 奥田 裕美 | 奥田 裕美 | | 奥田 裕美 |
| 精神科 | てんかん等 | 小野 光弘 | | 小野 光弘 | 小野 光弘 | 小野 光弘 |

※下記診療科は入院患者のみ診療

| | | | | | | |
|---------|-------------------------------|-------|-------|--------|-------|-------|
| 消化器内科 | 内視鏡等 ※午前のみ | | | | 松本 俊彦 | |
| 整形外科 | リウマチ・骨粗鬆症等 ※午前のみ | | | | | 藤本 和弘 |
| 歯科 | 13時～ | | 白石 麻美 | | 野田 健人 | |
| 耳鼻いんこう科 | 13時～ | | | 清水 菜津子 | | |
| 神経内科 | 13時～ | | | 神田 創 | | |
| 皮膚科 | 14時～ | | | | 杉本 紘子 | |
| 循環器内科 | 9時30分～12時30分 13時00分～17時00分 | 佐野 元昭 | | 石口 博智 | 奥田 真一 | |

① 外来受付時間: 午前8時30分～11時30分 【外来診療開始時間: 午前8時45分～】

※内科新患外来: 午前9時30分～11時00分 / 内科紹介外来: 午前9時00分～11時00分

② 再診の予約受付は、医療事務室までお問い合わせください。

③ CTの外来紹介は、地域医療連携室(内線2452)までご連絡ください。

※中学生以下の患者さんにつきましては、事前に地域医療連携室までご相談ください。



独立行政法人 国立病院機構

山口宇部医療センター

山口県特定領域がん診療連携推進病院(肺がん)

〒755-0241 山口県宇部市東岐波685番地

TEL.0836-58-2300(代) FAX.0836-58-5219

<https://yamaguchiube.hosp.go.jp/>



患者紹介に関するお問い合わせは、地域医療連携室まで



地域医療連携室

受付時間 / 毎週月～金曜日(祝日及び年末年始を除く) 8時30分～17時15分

TEL(0836)58-4100 FAX(0836)58-2938